

山菜の王様 じねんじょ「夢とろろ」出荷始まる



愛知県有数のジネンジョ産地、豊田市旭地区で11月10日、ジネンジョ「夢とろろ」の出荷が始まります。「夢とろろ」は同市稲武町にある愛知県農業総合試験場山間農業研究所が育成した品種で、天然と変わらない強い粘りと食味が良いのが特徴。消費者からも好評で、旭自然薯組合では、2003年からこの品種の栽培を本格化させてきました。パイプ栽培のため、まっすぐ伸びたきれいなジネンジョが採れるのが特長です。今年は、ジネンジョが生長する過程で必要な天候条件などがよくそろい、高品質なジネンジョが期待されます。

日時：11月10日（火）午前10：00～
生産者がJA施設へジネンジョを出荷します。

場所：JAあいち豊田 旭営農センター

住所：豊田市小渡町七升蒔13-13

TEL：0565-68-2223

※取材にお越しの際は、事前にご連絡下さい。

※旭営農センターでの取材となります。

※新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、
農家のほ場取材はできませんのでご了承ください。



▲夢とろろの生産者ら

販売日：11月16日（月）～12月11日（金）

販売場所：JAあいち豊田旭営農センター
グリーンセンター藤岡店

出荷量：昨年は2.4トンを出荷しました。
今年は昨年よりも増える予定です。



▲お歳暮など贈答用にも人気

《旭自然薯組合》

30戸の農家が所属し、合わせて約150アールのほ場でジネンジョ「夢とろろ」を栽培。1979年からジネンジョ栽培に取り組んでいます。山口県からパイプ栽培の指導を受け、県内では初のパイプ栽培を取り入れ、2003年から「夢とろろ」の栽培を始めました。ジネンジョは種イモ作りに1年かかり、それを植えかえて、さらに約7ヵ月かけて栽培し出荷しています。